らしんばん
RASHINBAN
No.730
2022.5.21
ボーイスカウト東京連盟
山手地区目黒１団機関誌
発行：目黒１団・団委員長　高 根 博 信
団本部：目黒区中目黒 5-24-53 祐天寺内
http://www/.bs-meguro1.com/

HIKING QUEST IN KODOMO-NO-KUNI

団・合同プログラム

こどもの国で ハイキングクエスト

４月１７日（日）全隊合同プログラムとして「こどもの国を会場にポイントラリー」の活動をおこないました。
ビーバーからベンチャーまでの縦割り班をつくりチェックポイントで出される課題をクリアしながらゴールを目指す形で、名付けて「ハイキングクエスト」！！
当日８時に祐天寺に集合、開会後２組の縦割り班を作り早速出発、電車を乗り継いで「こどもの国」へ。１０時を過ぎた頃たくさんのこいのぼりが泳ぐ中央広場からスタート。天気にも恵まれ、園内では新緑がまぶしく春を全身で感じながら楽しむことができました。まずスタート地点で「人間知恵の輪」をおこない出発順を決めました。今回は全部で６か所のチェックポイントを回ります。

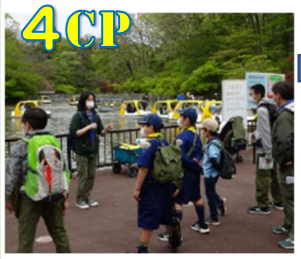
園内施設の「ディスクゴルフ」です。フリスビーを使ったゴルフ形式のゲーム

牧場脇の小高い丘の上からリーダーが「手旗」を打ちます。VS/BS がこれを読み解いて、CS/BVS が指示されたものを牧場に隠れたリーダーから借りてきます。

ボーイスカウトの逸話で有名な「無名戦士像」、ここでは副団委員長からこの像ができたエピソードを聞きました。

「梅林」でお昼ご飯、元気回復後半へ

「白鳥湖」で指示された方角をコンパスで探し、２つの方向が交差ところに隠されたカード探し。



小高い「桜堤」でロープの輪に置かれたペットボトルをロープ１本を使って救出するゲーム。

「椿の森」、数百あるといわれるこの森の椿の名前を制限時間内にいくつ覚えられるかを競いました。

GOAL！

ポイント以外にも歩く途中でいろいろと観察する課題のクイズもありました。全員ゴールしたところで祐天寺に戻り成果発表と表彰があり１６時頃に解散となりました。
こどもの国ではでかなりの距離を歩いてくたびれましたが、広大な会場を楽しめたり、往復のこどもの国線の電車に興奮したり、縦割り班で上のスカウトと交流できたりと充実した１日となりました。

久しぶり、大勢での遠出！　みんなはどうだったかな？

企画者メッセージ

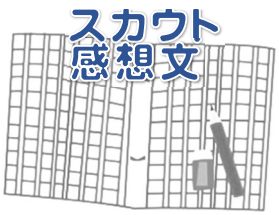
企画担当 RS 隊（CS 副長）・成澤スカウト

日に日に暖かさが増す４月、春の日差しを感じるため足を延ばしてこどもの国へ行ってきました。天気にも恵まれ、園内では新緑や花々を楽しむことができました。

ビーバー隊からベンチャー隊までが縦割り班となって力を合わせ、各チェックポイントのミッションをクリアしてゴールを目指す、その名も「ハイキングクエスト」を開催しました。ディスクゴルフや壮大な自然を活かしたゲームでは普段体験できないワクワクを、久しぶりの手旗やシルコンを用いたミッションではドキドキをめいいっぱい感じることができました。

ビーバー隊、カブ隊を引っ張るボーイ隊、ベンチャー隊の姿を見て心温まる場面も見られました。コロナによって普段通りにはいかない生活を強いられてきたスカウトたちも、今回の集会ではそんな喧騒を忘れ、ボーイスカウトらしい発見やボーイスカウトだからこそできる経験ができたのではないかと思います。

思いっきり楽しみ吸収した１日の帰り、電車ではウトウト頭を揺らすスカウトも数名見られました。今後も、試行錯誤を重ねながら、スカウトが笑顔になる、そしてボーイスカウトの魅力の詰まった集会を展開していきたいと思います。



ぼくは、４月１７日に、こどもの国へ、行きました。ぼくが一番心にのこったのは神奈川県の、ボウイスカウトの人達が、元気よく、挨拶を、してくれた事です。

ボーイスカウトの銅像を見に行きました。そこでは戦争で、同じスカウトどうしが悲しい戦いをしました。でもスカウトは世界で兄弟です。そのことを教えてもらいました。自分ではスカウトどうしで戦争するなんておろかだと思いました。

また、こどもの国えいきたいです。

CS 隊たかはしスカウト

わたしは、４月１７日にこどもの国に行きました。わたしが心にのこったことは、せんそうの話しです。ボウイスカウトはこんなことにもかんけいするんだな～と思いました。

楽しかったことは、クイズをしたことです。むずかしかったけど、楽しかったです。

うれしかった事は、ちえのわ事に、すぐにほどけた事です。

わたしは小さいころに、よくこどもの国に行っていたので、なつかしかったです。この次にこのような所へ行ったら、もっと、いろいろな事のレベルを上げていきたいです。

CS 隊かやまスカウト

先月、団全体での合同ハイクがありました。行った先はこどもの国、２班に別れて謎を解きながらチェックポイントを目指し、交流を深めるといったものでした。

私は犬班にて活動しました。大変だったことはカブやビーバー達の面倒を見ることでした。それでも幾つか気付けたことがあったので良かったです。

途中の手ばたを使った問題のところでかなり手こずったので、今一度手ばた覚えなおそうと思いました。

BS 隊あんどうスカウ

先子どもの国、合同ハイクでは、約１時間かけて子どもの国に行き、ハイキングコースを歩きました。子ども（小学生前）にも行ったこともあるなつかしい所で、最初からとてもワクワクしていました。長い電車移動が終わり、いざ子どもの国につき、最初のゲームで「犬チーム」に差をつけられて、少し心配になりましたが、次の「ディスクゴルフ」で「犬チーム」に追いつけて、少しホッとしました。そこでやったディスクゴルフでは、１回目では５回で、２回目は２回で入れることができて、とてもうれしかったです。そこから長い階段や橋をこえ、「ミルクプラント」に着きました。そこでは手旗を使って、暗号を解読してその物を貸りる「貸り物競争」をしました。そこでは、手旗の暗号に少し苦戦しました。また、団委員長や伊澤さんが周りにとてもとけこんでいて、ビーバーやカブでも探すのに苦戦していました。ですが、しっかりと見つけて、しっかり貸りていました。

その次は、「白鳥湖」に行くこととなり、行く途中でかわいい牛たちに会うことができました。その後、「白鳥湖」に着いてからは、コンパスを使い、暗号を見つけました。コンパスも少し難しかったけれど、草むらにかくれた暗号を見つけることができました。

第５チェックポイントでは、ルートとは違い第６チェックポイントになってしまいました。そこでは、椿の花の名前を覚えて、発表しました。「熊谷」、「紅乙女」、「福娘」、「曙」、「勘次郎」、「墨染め」、「染川」・・・とたくさんの椿（２７個）を見つけることができました。

そして最後のチェックポイントでは、直径約 1.5mの円の中心にあるペットボトルを手は円の中に入れず、ロープだけを使って、ペットボトルを出しました。知恵をふりしぼり、ペットボトルを出すことができました。

第１チェックポイントに行くと「犬チーム」はまだいなくて、先に帰ることができました。結果は負けでしたが、暗号文を解読したり、観察力テストで今までの道のりや、景色をたよりにして問題を解いたりして、楽しく歩いていたら、８０００歩近く歩いていたと知ってとてもびっくりしました。

今回の子どもの国合同ハイクで歩くこと（ハイキング）の楽しさを知ることができ、またこのような集会が出来る日が来たら、もっと楽しみたいと思いました。なので、その時には、もっと経験を増やし、知識を増やし、さらによいスカウトになっていきたいです！

BS 隊ふじくらスカウト

※スカウトの作文は手書きでしたのでテキスト変換しました。原文の文法や漢字の間違えなどはあえて修正していませんのでそのまま反映されています。個人とか年代の特性としてお読みいただければと思います。

ビーバー隊

４月１０日（日）祐遊広場で料理の集会をおこないました。今回のメ「手作りピザ」です。

原料の小麦粉は強力粉と薄力粉の割合でもっちりかカリカリか決まります。今回は「強力粉」と「薄力粉」を等量ビニール袋に入れて、「ドライイースト」「砂糖」「塩」を加えて袋ごとシャカシャカ振って混ぜ合わせました。そこに「水」を加えてネリネリネリ・・・・適当に混ざったところで袋から取り出して両手で力いっぱい練ります。よ～く練っていると艶が出てきました！これを袋に戻して発酵させます。

発酵が終わるまでの間、ミニゲームを幾つかやって遊びました。

３０分もすると倍近くまで膨らんだので、麺棒で平らに伸ばしフォークで小穴を開けます。「隊長特製のソース」をかけてチーズを盛りだくさん！フライパンに乗せホイルで覆って極弱火でじっくり焼きました。焼きあがるまで時間があるので、またひと遊び。

さあ！出来た！！　自分で作ったピザはお店のより美味しいね。スカウトたちは何切れもぺろりと食べました。

残ったピザ種は家に持ち帰り、家族などにふるまわれたそうです！！

粉を計って

平らに伸ばして

チーズとソース

よく焼いたら

完成です！！

美味しい

4月の活動報告			5月の活動予定		
BV	13日	ピザ作り	BS	15日	隊集会
VS	21日	定例隊会議(ｵﾝﾗｲﾝ)	VS	19日	定例隊会議(ｵﾝﾗｲﾝ)
				26日	臨時隊会議(ｵﾝﾗｲﾝ)
団行事	17日	団ハイク・こどもの国	団行事	29日	全団集会＆体験集会

「団委員長メッセージ」

日本ジャンボリーの情報が日本連盟から配信されているので皆さんにお伝えしておきます。

高根博信

全国のスカウト諸君、ボーイスカウト隊指導者の 皆さん、いよいよ来年 2022 年（令和４年）の８月に 待ちに待った、第 18 回日本スカウトジャンボリー（18NSJ）が開催されます。

約２年間、世界中が新型コロナウイルスの蔓延で、皆さんご周知のとおり、東京オリンピック・パラリン ピックの開催も１年延期して開催されました。

しかし、昭和 31 年長野県軽井沢で開催された第１ 回日本ジャンボリーから、３年前の石川県珠洲市で開催した第 17 回日本スカウトジャンボリーまで、延々と続いてきた日本スカウトジャンボリーの「火」をた やすことなく、何としても受け継いでいかなければな りません。

今までの１万人規模の野営大会は、日程、場所の関係から、実施が難しい状態です。

18NSJ は、各ブロック、県連盟、地区、または隊の 規模での全国のあらゆる場所での、分散開催という今までとは違う形で開催します。分散開催という方式に なりますが、それぞれのキャンプ地をできる限りつなぎ一体感を醸成するため、ジャンボリーサマー 2022 と位置づけ、一人でも多くのスカウト・指導者が全国 それぞれの地で同時にキャンプに参加しようではあり ませんか。

18NSJ のテーマは、　「　　～自分の f を探せ～」

日本連盟創立 100 周年記念大会として、100 年間の歴史を振り返り、これからの 100 年を築き上げる契機となるよう、自分の「ｆ」を探して未来に向かっていくテーマに設定しました。